

# 日本協同組合学会 Newsletter

Vol.21 No.1(通巻49号)

2010年2月19日

## ~第15期ごあいさつ号~

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 村岡範男  
〒100-6837 東京都千代田区大手町1-3-1 JA 全中教育部内  
Tel : 03-6665-6260 Fax : 03-3217-5073  
Eメール : coopstudies-jimukyoku@zenchu-ja.or.jp  
ホームページ : <http://coopstudies.jp>

## 第15期会長としてのご挨拶

酪農学園大学酪農学部 教授 村岡範男

日本協同組合学会は、会員の皆様の熱いご支援のもと、2010年に創立30周年を迎えることになりました。この記念すべき時に、図らずも第15期会長をお引受けすることになりましたが、本学会の伝統、またその果たしてきた社会的役割の大きさを顧みますと、果たして私がこの任にふさわしいのかどうか、自身の非力さを知るが故に身の引き締まる想いでおります。

19世紀中ごろにヨーロッパの特定の地域に端を発した協同組合は、短期間のうちにヨーロッパ全土のみならず、アメリカ大陸、さらに東洋の日本にまで勢力を広げ、経済的弱者の自助、自己責任、自己管理の組織としてその存在を主張してきました。その勢いは21世紀を迎えても衰えを見せるどころではなく、発展途上国の諸地域にまで浸透し、益々その重要度を増しております。それは、実に様々な種類=現実形態が認められるとはいえ、協同組合という組織が持つ普遍性に基づくものであると思われまます。

幸か不幸か、20世紀後半の世界の力関係の変化、食糧の慢性的過剰と不足の同時進行=不均等発展の深化と複雑化、環境汚染の拡大、「市場原理の徹底」がもたらした歪み、地域社会崩壊の危機等といった諸現象はそれまでの生産力優先・経済合理性の追求という考え方に軌道修正を迫り、デカップリング政策の登場など哲学の転換を促すとともに協同組合の役割を再認識させることになりました。協同組合という形態は、現実の諸矛盾を解決するための有効な手段として、今一度脚光を浴びることになったのです。

他方で、そうした協同組合といえども、前世紀の後半期には老舗のヨーロッパを中心に翳りをみせたこともまぎれもない事実でした。そうした状況下でレイドローを初めとする関係者の一連の報告が、協同組合の存続に危機感を持つ人々の関心と話題を呼んだことも周知の事実です。国内においても、総合農協に対する厳しい批判が繰り返されるなど、協同組合を取り巻く環境は楽観視できるものではありません。

私たち日本協同組合学会は、混沌とした日本国内・世界情勢の中で、益々重要性を増す協同組合の存在意義を認識するとともに、協同組合の力量を過信することなく、その役割と機能を理論的、客観的に把握することに全力を注ぎ、それを幅広く外に広げていきたいと考えております。

第30回記念大会がそのような課題にこたえる場になることを念願するとともに、本学会の今後の活動が益々社会の注目を集めるよう、会員の皆様の結集、ご協力とご支援をお願いする次第です。



## プログラム

第1部 14:10~15:30

報告：堀越芳昭（山梨学院大学） 「レイドロー報告30年 その歴史的意義と現代性」  
質疑応答・討論

（15:30~15:40 休憩）

第2部 15:40~17:00

報告：石塚秀雄（非営利・協同総合研究所いのちとくらし）

「レイドロー報告30年 国際協同組合運動の新展開」～レイドロー報告以後の世界の協同組合について  
質疑応答・討論

日時：2010年2月27日（土） 14:00 - 17:00

場所：明治大学駿河台校舎研究棟2階第9会議室

JR 御茶ノ水駅、地下鉄御茶ノ水駅・新御茶ノ水駅・  
小川町駅・神保町駅より徒歩数分



参加費：1,000円

（事前申込不要。当日お名刺をいただきます。可能な方はご持参ください）

- 今回の研究会は、今年の本学会における研究のキックオフイベントとして、2名の研究者の方から提起をいただき、討論します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

### \*春季研究大会予告\*

日時：2010年5月15日（土）または5月29日（土） 会場：東京農業大学

共通論題：レイドロー報告30年 協同組合運動におけるその意義と現代性

座長解題：堀越芳昭

第1報告：レイドロー報告30年と国際協同組合運動・協同組合原則

報告者 白石正彦 コメントーター 堀内光子

第2報告：レイドロー報告30年と協同組合セクター論

報告者 鈴木岳 コメントーター 内山哲朗

第3報告：レイドロー報告30年と協同組合民主主義

報告者 杉本貴志 コメントーター 竹信三恵子

第4報告：レイドロー報告30年と4つの優先分野の今日性

報告者 澤口隆志 コメントーター 櫻井勇

## 学会賞の推薦をお願いします

推薦期間： 2010年1月16日（土）から2010年7月31日（日）までの7ヶ月間。

推薦対象： 2010年6月末までの3年6ヶ月間に刊行された著書、論文またはそれに準ずるもの。

推薦方法： 2名以上の本会普通会员の連名による推薦を得る。選考対象の研究業績の現物、著者または著者代表者の業績一覧及び履歴書各1部を添えて推薦状を提出する。推薦をする場合には、学会事務局（JA 全中教育部）に連絡のうえ、所定の推薦書様式を入手して下さい。

## 会員メーリングリストへの登録のおさそい

当学会では、会員どうしの情報交換、学会からのお知らせ等のためのメーリングリストを開設しております。現在、約100名の方が登録されています。メーリングリストへの登録をご希望の方は [coopstudies-jimukyoku@zenchu-ja.or.jp](mailto:coopstudies-jimukyoku@zenchu-ja.or.jp) へご連絡ください。